

## From Ibigawa S A B O

### 土砂災害発生に備え洪水対応演習を実施

梅雨の長雨や集中豪雨等が発生し易い時期を迎え、土砂災害発生の危険性が高まる時期となって来ました。

土砂災害発生時における事務所内の行動や関係機関との連絡、被災箇所の緊急復旧等の手順を確認し、災害発生時の体制を万全に期するための洪水対応演習を5月15日(火)に実施しました。

演習では、揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)地先で山腹崩壊が発生し、崩壊した土砂が八草(はっそう)川を一部閉塞したとの想定で実施されました。災害発生時の情報収集や共有などの情報管理の方法や、記者発表資料の作成やホームページへの緊急情報の掲載など情報発信の手順、復旧工法の検討及び対策実施に向け災害協定業者への緊急復旧対応の指示など、土砂災害発生時に行わなければならない内容を確認しながら演習が進められました。

いざというとき迅速且つ的確に災害対応が行えるようにするためには、日頃からの訓練と心構えが重要です。今回の訓練を通じて、職員のそれぞれの役割などを再確認しました。



災害対策支部室の状況



応急復旧工法の検討

### 情報コンセント講習会

洪水対応演習に先立ち、災害時等の通信回線を確保するために整備された情報コンセントについての講習会を4月25日に開催されました。

情報コンセントとは、災害箇所を含む砂防の現場は山中が多く、携帯電話等の通信エリア外で通信回線が確保できない地域があります。また、発生箇所・時期が特定できない天然ダム等大規模土砂災害に対し、迅速な監視カメラ・水位計等の機器等設置が可能となるように、管内に張り巡らせた光ファイバー網を利用し、無線LAN方式の情報コンセントが固定式7基、可搬式3基整備されています。

災害時等に情報コンセントを職員誰もが使用できるように、情報コンセントの機能の説明と中継局等の組み立てて、実際に情報を送信する訓練を実施しました。



中継局の設置訓練の様子

### ホームページ更新訓練

また、越美山系砂防事務所では、災害時等に土石流発生状況などの『緊急・災害情報』を事務所ホームページで提供しています。災害時等に事務所職員が誰でも緊急情報等をホームページに掲載することができるように5月11日に操作訓練をしました。

洪水対応演習では、記者発表資料を実際にホームページに掲載する訓練も行っています。



日頃からこのような演習や訓練等を実施することで、災害時に職員自ら様々なことに対応出来るよう準備しています。

## コンクリートの品質向上に向け新技術を活用 =宇津志谷=

宇津志(うつし)谷【本巢市根尾宇津志】では、堰堤工事を実施中(写真A)です。アイデア満載の現場技術者の発案により活用する新技術は、現在何と「8つ」。既に現場施工にもそれらが活用されています。

写真Bは、ピカコン(SK-040007-V)というコンクリート表面に出来やすい気泡を抜き取る器具を用いて表面の平坦性を向上させています。写真Cは、透明樹脂型枠のミエールフォーム(KK-080044-V)施工時の様子です。型枠外側からコンクリートの充填状況を確認できる特徴を持っています(写真D)。また、コンクリートの打設時にスパイラルインナーバイブレーター(KT-1100054-A)を使用しています。

その他にも、打設されたコンクリートの表面をアクアマット(CG-060001-V、CG-060005-V)で覆い湿潤性を確保したり、写真Eは、クラックセイバー(SK-080001-V)塗布して乾燥収縮によるコンクリート表面のひび割れ抑制しています。

これらの新技術を活用して、コンクリートの品質向上に努めています。このような丁寧な施工により、堰堤の耐久性を大きく向上させてくれることが期待できます。



最終段階を迎える堰堤本体の  
コンクリート打設の状況



B : ピカコン使用状況



C : ミエールフォーム設置  
状況



D : 同上 コンクリート充填  
確認状況



E : クラックセイバー塗布  
状況

※ 文章中の番号は、  
NETIS登録番号です

※ NETISとは、国土交通  
省が新技術の活用のため、  
新技術に関わる情報の共有  
及び提供を目的とした、  
新技術情報提供システム  
(New Technology Information  
System:NETIS)です

## 鋼製砂防堰堤講習会を開催 =内容=

越美山系砂防事務所では、通常時に流出する無害な土砂を下流へ流し、溪流環境にも配慮して透過型堰堤を設置する条件に適合する場所には採用しています。

現在工事中の内容(うちたに)【揖斐川町外津汲】にも鋼製透過型砂防堰堤を設置します。

内容で施工する透過型砂防堰堤は、当事務所では初めて採用した型式のため、特徴や施工手順を確認するための講習会を、事務所職員と施工業者18名が集まり5月17日に開催しました。



## 広報の充実を図ります

越美山系砂防事務所が行う砂防事業は、山間部に砂防堰堤等の砂防施設を設置しています。従って、あまり目に触れない所で事業を実施しているため、流域下流の方には理解されにくい事業です。こうした事業を解りやすく紹介するためや、土砂災害時等の有事の際“迅速”で“わかりやすく”情報提供するために広報の充実を図ります。

その為に、所内に『広報会議』を設置し内容の充実や事業紹介のための新しい取り組みを企画・立案していきます。

また、クマタカ通信等の情報誌やHPIに掲載する写真について、伝えたい内容が的確に伝わる写真撮影の技術を学ぶため、4月17日開催された「伝わる写真」の撮り方講習会を元に所内講習会等を開催しました。

事務所では、今後も広報の充実を図ってまいります。



即 実践!!  
広報を担当する職員が講習会の様子を撮影